

市政報告

発行者：市民クラブ
小川 敏 男 豊
水田 井 基 司
府中市出口町 1076-4
TEL 41-7894

私の決意

水田豊

皆様方の「支援をいただき3期目の議員活動に入りました。ありがとうございました。」



暑中お見舞い申し上げます

さて、府中市政は大きく変わりました。

これまで3期12年市長を勤めた伊藤前市長から戸成市長に変わりました。

府中市議会も20の定数のうち新人が10名を占めるなど新旧が入れ替わりました。

私の属する会派も社会クラブから市民クラブと衣替えをしました。

府中市議会としての会派構成は、前市長派の平成クラブ単独で14名となっており新市長との間でしばらくは混乱が続きます。

こうした状況の中、初心忘れずこれからも地域住民、市民の代表として頑張ります。変わらぬご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

5月議会

選挙後の初議会は、議長、副議長の選出が行なわれません。今回から立候補者が全議員の前で自らの政策を表明することになりました。

立候補は議長に小野申人、副議長に丸山茂美議員しかなく一人が選出されました。また、選挙公約という理由で、戸成新市長の給料(退職金も)を半額にする議案も提出され、平成クラブが質問しましたが、全員の賛成で可決されました。

なお半額とは12月議会に引き上げた額の半額です。

また国の法律の改正で軽自動車の税金が来年から大幅に引き上げられることになりました。

6月議会

一、市長、副市長、教育長の給与改正について

提案理由は「公約だから」選挙結果がすべて「というもので、条例案は、戸成市長の在任期間中を対象に、市長82万5000

円(現88万円)、副市長67万1000円(現71万5000円)、教育長62万7000円(現67万円)に戻すものです。

市長の場合は5月議会で「半額」となっていますが、今度は「前の額の半額41万2500円(現44万円)」となります。

12月議会で引上げに賛成した平成クラブは反対し否決となりました。公明党も反対に回りました。

市民クラブは、ダイエットプランで市民に7億円の負担を強いる中、特別職だけ引上げるわけにはいかないと引下げに賛成しました。

二、府中市民病院の院内保育所の新設について

府中市民病院に認可外の保育所を設置する補正予算案が提出されました。市民病院の医師、看護師、市内の病院に勤めている看護師さんの3歳未満児を対象に9月から開所、定員8名までというもの

です。認可外のため市外の方も利用できません。民間委託のため予算可決後業者の選定が行なわれます。

三、地域交流センターの設置と管理について

恋しきの横に建設されている地域交流センターについては、3月議会での議員から「建設費1億3465万円、敷地は80坪、坪当たり150万円。なぜこんなに高いのか。この坪数なら5000万円あればできるのではないか。どういうことを主にやるのか」という質問に伊藤前市長は「府中の顔にしないといけない場所。川越市（埼玉県）に時計台があるように、府中と言えばこれが絵として出てくるようなものにした。北側と南側に40坪ずつぐらいの敷地がある、大断面木造、ガラス方立て対応、屋根も非常に特徴的な形状、本当に見せるための建築機能だけをいえばあそこまでお金をかける必要はない。北側は公衆トイレと観光協会やまちづくり公社などが

入る事務所。南側は店舗、お好み焼き屋」と答弁していた。今回は管理を決める内容のため、選定は指定管理者選定審査会（会長平田光章副市長）で公正に選定するよう求めました。

四、副市長人事について

市長が変わったことから、六月末で任期が切れる副市長の人事が今議会の大きな争点でもありました。平成クラブと公明党は新市長に平田副市長の継続の要望書を提出していました。また一般質問の中でも重ねて平田副市長の継続を求めましたが、戸成新市長は「市長の専決事項なので要望書提出は失礼なこと」と人事に介入するなどと答弁していました。新しい副市長の提案はありませんでした。



府中北市民病院 地域住民の知らぬ間に 4階療養病棟（慢性期）の廃止に抗議する

70床から60床以下にさらなる縮小

地域医療を守る会は6月5日、戸成新市長に要望書を提出しました。

その後、府中北市民病院4階の療養病棟（慢性期）の廃止を含め、病床数を現在の70床から60床以下にするというさらなる病院機能の縮小計画が明らかになりました。この療養病床廃止は、住

民はおろか、病院職員にもつい最近まで、知らされておりません。住民に

弊害の生じる可能性のある計画はあらかじめ住民に説明するのが当然だと思います。北市民病院療養病床廃止の中止を要望します。

6月5日市長への要望書から抜粋

- ・府中北市民病院縮小後の弊害事例調査を早急におこない、困っている住民を一刻も早く救済すること。そして地方独立行政法人府中市病院機構および府中北市民病院の現状について住民に説明し住民と協議する会を開催すること。
- ・新病院建設に関する費用が新聞等で42億4千万円と公表されているが、病院事業に関する一般会計の繰り入れが年間約5億円かかる状況でどのように黒字化できるのかという具体的な原価計算・事業採算の説明が信託者である市民に対して全くなされていないので人件費を含めたその原価計算（①職員配置、②施策経費、③施設建設、④立地選択、⑤外部委託）と事業採算を公開し説明する義務があるので早急に対処すること。



市の持ち出しは

増えるばかり

桜が丘団地販売の2013年度決算が6月議会に報告されました。販売目標30に対し販売数は21区画、負債14億2400万円、資本9477万円で、借金残額は13億2952万

円、一年間の返済額は1億600万円、利息の支払いは1062万円となつています。当初、桜が丘団地は10年で完売する計画でしたが、結果は357中68区画、289区画残るところになりました。新たに

2010年度から10年で完売する第2次販売計画をつくりましたが、289区画という第1次の販売残があまりにも多く、毎年20区画近く売っても完売のメドがたちません。府中市は第2次販売計画にあたって、桜が

丘団地販売に貸していた7億6000万円を債権放棄し、坪単価の値下げと販売促進補助金などの財源に7億6000万円の補助金を出しています。さらに府中市分の特典などのために2010年度から現在まで約2億6000万

市長と議会にかかっている！

現職の伊藤氏に代わって戸成新市長が誕生した。報酬引き上げに市民が反発した。しかし、引き上げだけが伊藤氏の敗因とは思えない。3期12年間の実績を吹聴し、企業主や町内会、新・現議員の大半が伊藤支持にまわり盤石の態勢に見えただけに意外に写つても不思議ではない。

12年間の伊藤氏は正に裸の王様だった。平成会や報酬審議委員、さらに事業主の中に「殿、しばらく・・・」と諫言（かんげん）するものがいなかったのか。イエスマン集団の弊害と指摘する声が多く聞かれた。

府中学園や病院建設等大型公

共事業を評価する声もあるが、身の丈を超えた借金で財政は破綻寸前の状態だ。そのツケが選挙直前の3月議会ですべて7億円ダイエツトプランとなつて市民に大きいのしかかった。

かつて伊藤氏は、1年かかっていたものが1カ月で、1カ月かかっていたものが1週間でできるようになったと豪語していた。その例がごみ有料化や保育所・学校の統廃合等である。情報は一切公開せず、賛成者で構成する審議会で民主的審議を装い、議会はそれを追認するだけという徹底した官僚政治を権力をかさにかけて強行してきた。有権者はこの姿を見て投票されたものと確信する。「驕るもの久しからずや」である。

当選した戸成氏は報酬問題に争点を特化した。報酬だけが勝因とは

よもや思つてはいまい。中国新聞が市長選の出口調査でも半数に近い人が伊藤氏の「政策」「人物」を批判して「戸成」に書いたと報じている。

府中市政60年の最大失策は桜が丘団地である。失敗の要因は数々考えられるが最大の要因は議会のチェックができなかったことにある。市長も議会もこの府中市の失敗の本質に学ばなければ府中の再生はない。

戸成市長は当面する病院建設と中心市街地の事業を情報公開して市民の声を聞き、議会で忌憚のない議論を尽くすべきである。市の将来は市長と議会にかかっている。

第2次販売計画の目標と実績

年 目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
年 度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	小計
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
目 標	30	30	30	30	30	30	30	30	30	19	289
実 績	18	12	22	21							73

第1次販売計画の結果 目標357－結果68(19%)＝残り289区画

円の持ち出しを行なつています。伊藤前市長が第一次販売計画で、何もしてこなかった結果が多額の公金を桜が丘団地につき込むことになっていきます。

血も涙もない 病院訴訟 裁判所が「却下」判決

病院縮小の実態に裁判所関与せず

北市民病院の不当な縮小、前市長による強制的な行政運営、200例にも上る具体的弊害事例に言及することなく、裁判所は門前払いの判決を下しました。

2年間をかけた私たちの主張に、なんら言及しない裁判所に対し「血も涙もない」とは松井原告

団長の感想です。

行政にの横暴を裁判所が見て見ぬふりをするのが、安倍首相が憲法9条の解釈を勝手に変える暴走にもつながっている。まさに裁判所の存在意義が問われています。

裁判に負けたのではありません。却下とは単に裁判に該当しないとただ

JR福塩線 府中―三次間

昼の臨時列車の復活を!

2012年3月のダイヤ改定から、昼の列車が臨時ダイヤとなっていていま。普段の日は午前8時台の列車が出た後は午後3時まで列車がありません。昼の臨時列車は要望があれば走らすことができますというのですが、みんなが知っているわけではありません。昼のダイヤの復活を要望します。

上下高校活性化協議会

吟醸酒「あやめ」

製造・販売を検討

上下高校の上下を誇ろうプロジェクトで吟醸酒「あやめ」の製造・販売というユニークな取組みが提案されました。



あやめちゃん

校の敷地を利用してのうちに酒米を地元醸造家を通じて吟醸酒にし、「あやめ」キャラクター」を冠して販売するとい

編集後記

新しい府中市議会が終わりました。新聞各紙にも報道されているとおり、副市長、教育長の給料を引き上げ前に戻す議案は、平成クラブと公明党によつて否決されました。伊藤前市長派である平成クラブと公明党は、平田副市長の続投を求めましたが、戸成市長は明確に拒否しました。私たち市民クラブは賛成しましたが少数否決です。市長と平成クラブが対立し、しばらく混乱が続くでしょう。伊藤市長は落選しましたが、伊藤市長を支えていた平成クラブは逆に14人と増えています。今でもなんでもできると勘違いしている人がいるようです。新人の議員には会派ではなく、自己の判断が大事だと言いたい。

判決報告集会の開催

とき 8月2日(土)午後2時~
ところ 上下町民会館2階大研修室
内容 裁判の判決内容
今後の方向
北市民病院の現状
講師 弁護士、黒木秀尚医師
参加費 無料
参加おまちしています。

けで、住民運動の否定でもなければ市行政が勝つたわけでもありません。不当判決を乗り越え、北市民病院を守る戦いを継続していきましょう。
※「却下」とは事件の実体の当否についての判断に入らず、不適法として排斥する裁判をいう。(有斐閣法律用語辞典)

水田豊の読書日誌

思考の整理学 外山滋比古
ぼつけえ、きょうてえ 岩井志麻子
推理日誌IV 佐野 洋
日本人は民主主義を捨てたがっているのか? 相田和弘
衣笠祥雄はなぜ監督になれないのか? 堀 治喜
今夜、すべてのバーで 中島らも
村上海賊の娘 上・下 和田 竜
わが母の歴史 早乙女勝元
いとも の。
町お
こしの
一環に
もな
り、応
援した
い取り
組みで
す。